

## (1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
広報活動の向上	<p>中長期重点取組の1 「入学希望者の増加を図ります」</p> <p>(1)中学生や地域へ、より反応のある情報発信を行い、その機会を増やします。 (2)後期選抜での競争率を着実に高めます。</p>	<p>○3年生「課題研究」生徒の企画・運営による説明会の実施 または、中学校への訪問説明会・模擬授業を行った。</p> <p>○後期選抜では募集128名に対し、志願者が187名。4年連続定数超過を実現し、過去10年で最高倍率になった。</p> <p>26年度 情報マネジメント科 1.22倍 商業科 1.55倍 計 1.46倍 25年度 1.50倍 1.30倍 1.36倍 24年度 1.39倍 0.95倍 1.07倍</p>	<p>○昨年度より入門講座や学校説明会は、生徒が企画し実践している。在校生が語る言葉は説得力があり、中学生にもわかりやすいと考える。</p> <p>○中学校進路担当説明会(11/15金)・学習塾対象説明会(11/22金)の実施は概ね好評であった。</p> <p>○今後も中学生や保護者が必要とする情報を発信して、学校の魅力をPRすることが有効である。</p>
進路指導の充実	<p>中長期重点取組の2 「ビジネスの高度化に対応できる人材育成のため進学指導を強化します」</p> <p>(1)国公立大学及び難関私大合格を常に可能とするように教員の指導力を高めます。 (2)進学希望者のうち四年制大学を希望するものをより増加させます。 (3)専門性を生かした進学を促進するため、大学との連携を強化します。</p>	<p>○9月に個人面談週間の設定をし、生徒の意欲を高めた。</p> <p>○9月に第一学習社による「小論文指導研修会」を実施した。参加教員からは、添削のポイントを説明・解説してもらい大変わかり役位と概ね好評だった。</p> <p>○卒業生懇談会(7月)では大学生4人を招いて大学受験の体験談等を話してもらい、生徒の進路選択の幅を広げ、学習意欲向上を図った。</p> <p>○朝日大との連携事業では、6・2月に大学教授による授業を実施した。また、昨年と同様に朝日大を143名が訪問し、施設見学し講義を受けた。</p>	<p>○進路状況は、今年に限り、就職者が大きく増加した。 26年度 就職171名・進学100名(4年制大学32名) 25年度 就職140名・進学131名(4年制大学48名) 24年度 就職153名・進学118名(4年制大学41名)</p> <p>低学年からの4年生大学向けに特化した説明会・個別面談などを継続的に行う必要があると思われる。</p> <p>○専門性を生かした大学進学、商業高校からの国立大や難関私大への進学について、学年・進路・各教科と共通の認識を持って生徒を支援していくことが課題である。</p>
商業教育の充実	<p>中長期重点取組の3 「商業教育の更なる充実を図ります」</p> <p>(1)わかりやすく魅力ある授業の創出に努めます。 (2)各種検定・資格試験への取組を強化します。 (3)商業系クラブの活性化を図ります。 (4)地域づくりに貢献できる取組を促進します。</p>	<p>○生徒アンケートでは、授業満足度85.3%(5%UP) 検定受験指導満足度86.6%(0.8%UP)と高い。(昨年)</p> <p>○全商検定1級の3種目以上取得者は3年生で75名(22名減だが県内トップを維持) 商業系クラブ3つ(珠算電卓・ワープロ・簿記)が全国大会出場。</p> <p>○地元商店街でのキッズビジネス勉強会開催や、生徒企画オリジナル商品の開発・販売等、地域づくりに貢献する取組を進めることができた。</p>	<p>○朝学や課外授業、検定補習など、生徒のために熱意あるかかわりが満足度向上に繋がっていると思われる。</p> <p>○検定学習週間の取り組みを行って3年になるが、その効果など検討の必要がある。</p> <p>○個々および組織としての授業力・指導力の一層の向上、人材育成は、本校でも大きな課題の一つである。しかし、地域交流やイベント実施は一部教員の負担が大きく、過重労働にもつながるので、対策が必要である。</p>
クラブ活動の強化	<p>中長期重点取組の4 「高いレベルでの部活動による生徒の育成を図ります」</p> <p>(1)複数のクラブで常時全国有数の成績を出せるように努めます。 (2)部活動などの教育環境の整備を進めます。</p>	<p>○運動部女子の部総合成績3位。全国総合体育大会出場種目なし。バスケットボール部インターカップ全国16位。</p> <p>○文化部東海大会6部、全国大会4部出場。また、地域での訪問演奏やボランティア活動イベント運営など地域と連携できた。</p> <p>○ソフトボール場は計画通り整備できたが、野球場柵嵩上げは難航しており、引き続き要望を行う予定である。</p>	<p>○外部講師による職員・生徒講習会の参加が成果に結びついた。</p> <p>○バスケットボール・ハンドボール・テニス・陸上(駅伝)のそれぞれ女子のクラブは三重県強化指定校となる。</p>

## (2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統校としての強み。“泗商ブランド”の存在。それらのことが、立地条件の良さと相まって、抜群の就職実績（年度により差はあるが、事務職就業割合は6割以上にも）をもたらしている。地元企業や地域住民の、泗商に対する評価は総じて高い。</li> <li>○泗商に誇りを持つ生徒（本年度アンケート結果では90.6%(91.7)）、教員の存在。また、卒業生の母校に対する関心度の高さ。</li> <li>○極端に少ない遅刻や早退、生徒の問題行動。授業が大切にされ、全体として落ち着いた学校、安全な学校の状況であること。</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統校であるが故に、改革や急変を望まない雰囲気若干残されており、生徒像の変化への対応が遅れがちである。</li> <li>○三重県の商業教育の拠点校であり、沢山の事業を展開しているため、特定の教員にかかる負担が大きい。</li> </ul>

## (3) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不審者対策として、神社あたりに街灯を増やし明るくしたり、防犯カメラの設置に向けた検討をしてはどうか。</li> <li>○登下校中の生徒事故対策として、学校周辺に「四日市商業高校通学路」「正門はこちら」などの立て看板等の設置、また登下校時の通学経路についても検討が必要である。</li> <li>○現状より学習意欲の高い志願者を増やすことが必要であると考えられ、高校での専門的学習が、進学にも有利であることを引き続き粘り強くアピールすることが大切であろう。</li> <li>○学校HPを活用し、発信面においては「匠」事業の内容紹介や、大学進学については経済的負担の少ない方法・泗商より進学している生徒の事例や実績を紹介し、また特に中学生や保護者の受信面における工夫や配慮も必要である。</li> </ul>

## (4) 組織力向上のための取組（改善策）

次年度に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○入学志願者を増やすためには、学校自体の魅力を向上させるとともに、いかにPRするかも大きな課題である。前者については本県商業教育研究会本部校として、教育の質の向上を今後も図っていく。また後者については前例にとらわれない重点的な人員配置や、広報活動へのテコ入れなど、学校全体としての取り組みをさらに進めたい。</li> <li>○入学における「地元企業への就職」を希望する生徒・保護者に対し、どのように大学進学へ視野を広げさせるか、このことを本校キャリア教育の大きな課題の一つととらえ、系統的・総合的に今後も取り組みを進めていく。</li> <li>○オフサイトミーティングの実施は、教員集団に情報共有やものごとに対する共通理解を生むだけでなく組織力向上が期待できるので、来年度はできれば数度実施したい。</li> <li>○授業力向上、人材育成につながる研修会などの取り組みをはじめ、組織的・計画的な取り組みをも重ねることで、学校経営の質を高めていく。</li> </ul>